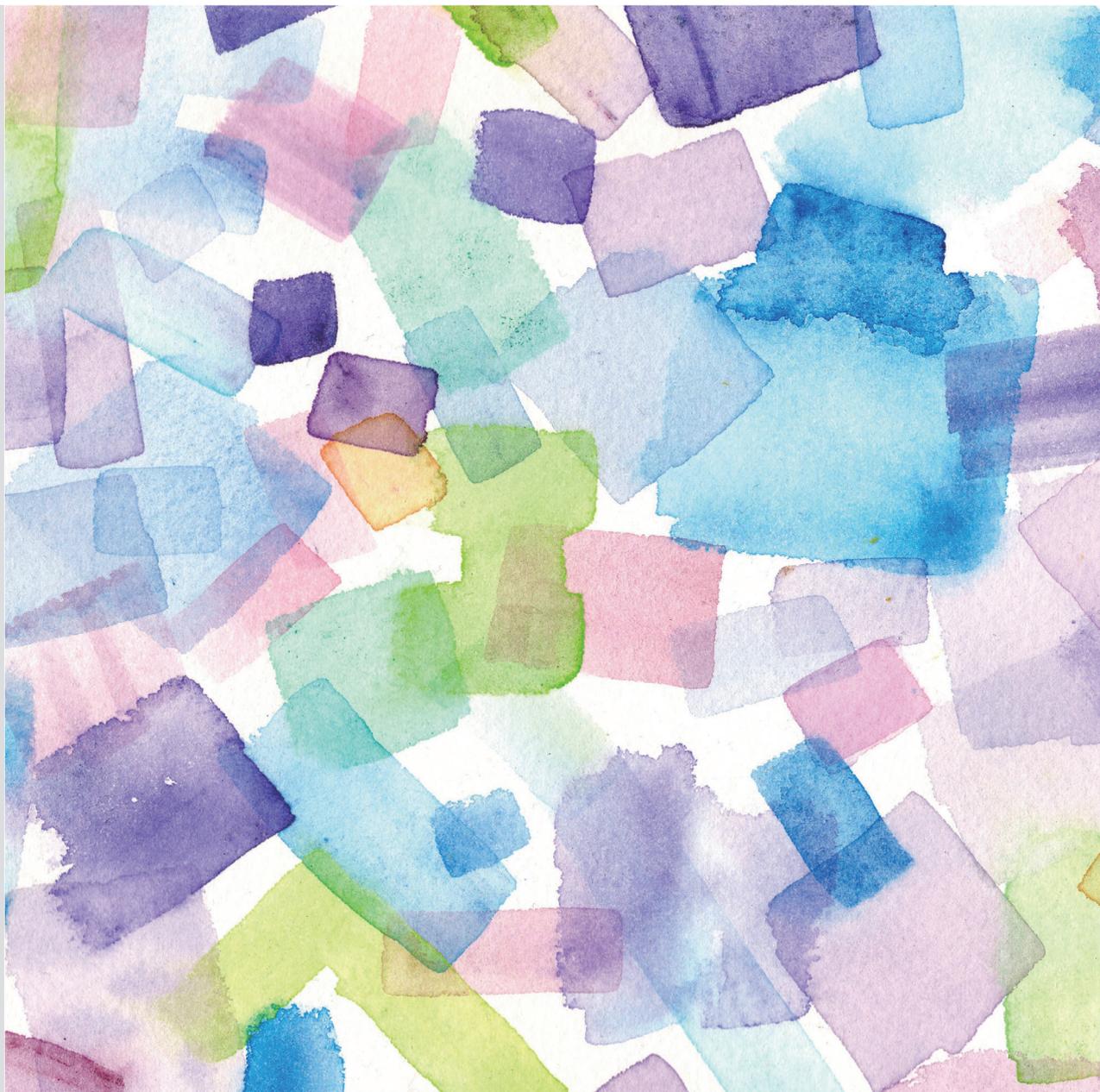


# Newsletter

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

86

2021.5.28



*Nashu Min*

## 第20回 咬合フォーラム

学術委員長挨拶／参加登録のご案内  
プログラム／演者・演題・抄録

## 第38・39回 日本顎咬合学会学術大会

参加登録のご案内／公開フォーラムについて  
オンデマンド講演プログラム

## 編集委員会からのお知らせ

日本顎咬合学会の国外に向けた「第二の論文誌」  
“Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry”

## informations

春の叙勲・褒章のお知らせ



特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-8-2 山京半蔵門バレス201

TEL : 03-6683-2069 FAX : 03-6691-0261 ホームページ URL : <http://www.ago.ac/>

第  
20  
回

日本顎咬合学会

## 咬合フォーラム

2021.8.7 (Sat) ~ 2021.8.14 (Sat)

8日間 WEB 開催

各講演者 40分 計 120分

## デジタルデンティストリーと咬合との接点を求めて

～真・顎咬合学の新たなる展望～

## 学術委員長挨拶



中島 稔博

新型コロナウイルスが猛威をふるう中、はや1年が経過し、皆様におかれましても大変不自由な生活を余儀なくされておられることを心よりお見舞いを申し上げます。当学会のみならず、他の学会やイベントなども実開催が難しい状況となっております。当学会におきましても、2020年度に開催予定でありました、第20回咬合フォーラムは新型コロナウイルスの影響によって、延期を余儀なくされました。そこでこのコロナ禍におきましても、皆様方の研鑽にすこしでもお役に立てればと考え、2021年8月7日(土)～14日(土)の8日間、web配信形式による、第20回咬合フォーラムを開催する運びとなりました。「デジタルデン

ティストリーと咬合との接点を求めて～真・顎咬合学の新たなる展望～」というメインテーマにて、青森県ご開業の梅原 一浩 先生、東京都ご開業の植松 厚夫 先生、岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座の近藤 尚知 先生に近年目まぐるしい発展を遂げている、デジタルデンティストリーの現在とこれからの展望について事前収録形式にてご講演をいただきます。

ご聴講いただく皆様方にとって有意義なご講演となることを確信しております。

最後に今回慣れないweb開催にも関わらず、ご講演をご快諾いただきました。すべての演者の皆様に心より感謝を申し上げます。

## ■ お申し込み方法

事前参加登録フォームへは下記 URL よりアクセスしてください。

URL : [https://www.ago.ac/20th\\_kougou/](https://www.ago.ac/20th_kougou/)

参加登録期日：5月6日(木)～7月29日(木) 参加登録：オンライン登録のみ

ご決済方法：クレジット決済・コンビニ決済

※コンビニ決済ご希望の場合には、登録期日は7月22日(木)までとなります。その際の払込期日は7月29日(木)です。

※新規入会をご希望の方へ

新規入会手続きを払込票で決済される場合は、7月15日(木)【払込期日7月22日(木)】までに入会お手続きをお済ませください。

新規入会手続きをクレジットで決済される場合は、7月26日(月)までに入会お手続きをお済ませください。



## ■ 参加費

	一般会員 / 準会員	非会員 (税込)
歯科医師	¥5,000	¥8,800
歯科技工士	¥1,000	
歯科衛生士	¥1,000	
歯科助手	¥1,000	
臨床研修医・学生	¥1,000	

※ご入金後はキャンセル・ご返金はできませんのでご注意ください。

※参加ご希望の学生・臨床研修医の方は、下記の書類を当学会事務局まで、E-mailにて添付ご提出ください。

(学生・大学院生：学生証のコピー 臨床研修医：所属先から発行される在籍証明書のコピー又は、臨床研修医証明書)

提出先：日本顎咬合学会事務局 E-mail : nichigaku@ago.ac 提出期日：参加登録手続き日より2週間以内

## Digitally Guided Oral Rehabilitation — from Ideas to Realizations —



植松 厚夫

ウエマツ歯科醫院 (東京都開業)

『現代歯科治療におけるデジタル化は、修復物や補綴物のデザインや加工といった製作過程に用いるだけでなく、いままで2次元的な情報だけで検査していた部分へ応用することで、3次元的に立体的な情報が得られることで精度の高い検査・診察を通して治療計画を立案することが可能となってきている。

特に、ここ数年においてはIOS (Intraoral Scanner) が小型軽量化され、スキャンニング速度が増加し、さらにデザインソフトウェアが使用しやすくなったことも要因となり、デジタル歯科治療は補綴治療範囲と治療顎位によって大きく二つの目的で使い分けること

ができると考えられる。

Type 1：クラウンやブリッジのように小範囲で補綴物を作製する場合は、効率的に時間を短縮する目的にデジタルシステムが使用される。

Type 2：咬合再構成を伴うような広範囲に補綴物を作製する場合は、補綴治療計画を立てるために検査・診察の段階で検査基準を明確にする目的にデジタルが使用される。

今回は、Type 2の症例に対してオーラルリハビリテーションをおこなう場合に、従来の方法と比較して視認不可能であった検査基準がデジタル化を応用することで三次元的に可視化され精度の高い治療結果を導き出すことへ役立つことを解説する。

## デジタル化はアナログに優るのか？ ～咬合再構成のための診断学への臨床応用～



梅原 一浩

医療法人審美会  
梅原歯科医院

近年、デジタル化が進み、日常臨床で多くの臨床家がCAD/CAMを利用し、ジルコニアやセラミックという硬い材質の補綴装置を装着する機会が増えている。また、その精度や方法、材料に関しても改良が進み、アナログとは違った意味での良さも感じられるようになってきている。しかし、これらは、補綴方法、補綴装置に対するデジタル化であり、咬合再構成

をするためのデジタル化の一部に過ぎない。

咬合再構成を行うには、咬合高径、咬合平面、咬合彎曲、顎運動といった要素をどのように決定していくかが臨床で難しい。我々は、多くの先人たちの研究報告から、各々が知識と経験を元に、臨床を研鑽してきた。しかし、パノラ

マ、セファロ、顎運動、補綴設計の診査・診断は独立したアナログで行われ、臨床応用されてきた。

私が考えるデジタル化は、こうした独立して診査・診断されてきたデータを、3次元的な一つのデータにすることで、少なくとも最初の診査・診断に、指標となる一助を加え、先人たちとの経験値を縮めることである。そこで今回は、矯正治療や補綴治療においても重要な診査・診断が可能であるCBCTデータ (DICOMデータ) と模型をデジタル化したCADスキャンデータ (STLデータ) や3D Photoのようなカラー画像データ (objデータ) をソフト上で重ね合わせ、さらには顎運動データ (XMLデータ) を取り込み、今までのアナログとデジタル化を融合させた咬合再構成のための診断学の現状とこれからについて発表する。

## 歯科治療に応用されているデジタル技術の現状と限界そして近未来展望



近藤 尚知

岩手医科大学  
歯学部 補綴・  
インプラント学  
講座 主任教授

歯科臨床の現場に、Information Technology (IT) が導入されて久しい今日、CAD/CAMはすでに共通言語となり、「デジタル・デンティストリー」という言葉もしばしば使用され、歯科医療の現場にも変革の時が来たと感じる先生方も多いのではないだろうか。

チタンまたはジルコニア製の補綴装置作製には、すでにCAD/CAMが必要不可欠であり、さらに、口腔内スキャナーによる光学印象が臨床応用され、模型は

3Dプリンタによって造形される症例も増加傾向にある。上記のように、現在の歯科医療はITの導入なしには成り立たなくなっている。

現状のデジタル・デンティストリーの臨床応用には解明・解決すべき課題もあるが、それを上回る多くのメリットがあり、今後のさらなる適応拡大に期待が寄せられている。本講演においては、デジタル・デンティストリーの臨床応用の現状を述べながら、我々が検証し続けている各種デジタル機器の精度についての見解と臨床応用の限界についても説明を加えたい。

## 第 38・39 回 学術大会・総会の参加登録のご案内

第 38・39 回学術大会の参加登録はお済みでしょうか？ 第 38・39 回学術大会はコロナ禍のなか初めての試みとして6月12日（土）から10日間、オンデマンド配信で開催することになりました。

診療所から、ご自宅から、お好きな時間にいつでも視聴することができます。約100のプログラムを、どうぞ診療後に、または休日に、講師の先生が目の前で講演されているような臨場感をご体験ください。

### オンデマンド配信期間

2021年6月12日（土）～6月21日（月）の10日間

### 参加登録方法

ホームページよりご登録ください。 ※メール、電話、FAX でのお申込みはお受けしておりません。

ホームページ：<https://www.ago.ac/3839th/>

登録期間：2021年2月1日（月）～2021年6月17日（木）

ご登録後、オンデマンド配信 URL と ID、パスワードを E メールにて発行いたします。



### 決済方法

#### クレジット決済

ご登録は、ご入金をもって完了となります。

2020年開催予定だった第38回学術大会で事前参加登録をされ、第38・39回学術大会・総会に向けて「差額返金お手続き」を済まされた場合は、参加登録が完了されております。5月下旬にオンデマンド聴講用のID・パスワードをメールにて送信いたします。なお、第38回学術大会の事前参加登録を解除し、「全額返金お手続き」をされていた方で、第38・39回学術大会・総会に参加を希望される場合は、新たに参加登録のお手続きが必要となります。

### 学術大会参加費

	一般会員／準会員※ <sup>1</sup> ／賛助会員※ <sup>2</sup>	非会員（税込）※ <sup>3</sup>
歯科医師	¥20,000	¥25,300
歯科技工士	¥8,000	¥11,000
歯科衛生士	¥8,000	¥11,000
歯科助手	¥8,000	¥8,800
臨床研修医・学生	準会員 無料	¥1,100
企業のみなさま	¥5,000	

※<sup>1</sup> 準会員とは…会員の臨床研修医及び大学生・大学院生（社会人大学生を除く）です。

※<sup>2</sup> 賛助会員とは…当学会会員の企業です。賛助会員企業の社員様も学術大会聴講者としてご参加いただけます。

※<sup>3</sup> 非会員の参加費は消費税が加算されます。あらかじめご了承ください。なお、会員の参加費は消費税の課税仕入れには該当しません（不課税）。

- 注意事項
- ・一般会員、準会員は事前に入会手続きが必要となります。お手続きに数日かかりますので、お早めにご入会手続きをお願いいたします。
  - ・非会員で参加登録したのちご入会された場合、差額分のご返金はできませんのであらかじめご了承ください。
  - ・同一名での複数登録・代理登録はできませんのでご注意ください。

# 公開フォーラムの開催について（オンデマンド配信）

コロナの感染拡大により、6月12日（土）、13日（日）の会場での開催は見合わせ、オンラインによる配信での開催に変更となりました。

**オンデマンド配信期間：2021年7月17日（土）～7月26日（月）の10日間**

※ 詳細については、公開フォーラム案内チラシをご参照ください。

## 公開フォーラムⅠ

### 「超高齢社会における歯科の役割」

河原 英雄	「入れ歯」で噛む
竹内 孝仁	なぜ義歯を調整すると寝たきりが歩けるのか 一脳と歯
長谷川 嘉哉	認知症専門医が教える！ 脳の老化を止めなければ歯を守りなさい！
植田 耕一郎	おいしく、楽しく、美しく 摂食機能の実力 ～認知症とのかかわり～
油井 香代子	患者の期待を担う超高齢社会の歯科医療

ディスカッション

座長：上演 正、南 清和

## 公開フォーラムⅡ

### 「口腔がん」

柴原 孝彦	いまこそ知りたい！口腔がん
堀 ちえみ	口腔がんを乗り越えて ～今だからこそ知って欲しいこと
嶋田 淳	口腔がんの診断と治療
垣添 忠生	患者さんの QOL を重視したがん治療

ディスカッション

座長：今井 裕

## 公開フォーラム申込方法

公開フォーラム公式ホームページよりお申込みください。

公開フォーラムⅠ <https://www.ago.ac/3839th/shiminforum/form1.html>

公開フォーラムⅡ <https://www.ago.ac/3839th/shiminforum/form2.html>

7月上旬（予定）に視聴用の URL をご登録されたメールアドレス宛にご案内します。

※日本顎咬合学会の会員の方で公開フォーラムのみの参加の場合は、認定単位は付与されません。

※第38・39回日本顎咬合学会学術大会に参加される皆さまは、その際のID、パスワードでご参加いただけます。

## 第 38・39 回 日本顎咬合学会学術大会・総会 オンデマンド講演プログラム

特別講演		
歯周病	Brian Mealey	Periodontal Medicine: The Connections Between Periodontal Health and Systemic Well-Being
咬合学		
咬合学	古谷野 潔 本多 正明	補綴装置の治療成績と欠損歯列の経時的変化から考える補綴治療 欠損補綴を Longevity から考察 ～咬合支持と咬頭嵌合位の安定～
トピックス		
チタン鑄造	黒岩 昭弘 伊比 篤	ここまでできるチタン鑄造 チタン技工の Tips
支台歯形成	山本 真道	失敗の少ない歯肉圧排・印象採得
移植・再植	平井 友成 田代 剛	天然歯を活かす移植・再植治療 ～その歯、まだ使えますか？～ How to 自家歯牙移植
マイクロスコープ	塩田 太・小林 隆 横田 要 山口 文誉 池尻 敬	見て！マイクロスコープで分かること、出来ること。 外科的歯内療法におけるマイクロスコープの有効性 ペリオドンタルマイクロサージェリーを応用した歯周組織再生療法 拡大視野下におけるコンポジットレジン修復
口腔内写真	岩崎 智幸 須呂 剛士	口腔内写真撮影とシェードテイクにおける基礎知識 口腔内規格写真の撮影法 ミラーの使い方をマスターしよう
咬合再構成		
咬合再構成	筒井 照子 上田 秀朗 南 清和	「咬合再構成」を再考する ～矯正治療・補綴治療～ 咬合再構成を極める 歯列不正、歯周疾患、多数歯欠損を読み解く オーラルリハビリテーション理論にもとづく壊れない長期安定する咬合治療
支部選抜歴代表彰者 (あの症例は今)	谷尾 和正 中島 圭治	力によって崩壊した患者に対し咬合再構成を行う際の診査診断の重要性 咬合再構成における考慮点
義歯		
義歯	菅野 博康 寺西 邦彦 亀田 行雄 川島 哲 松本 勝利 佐藤 勝史 松丸 悠一 谷本 幸司 牧 宏佳	パーシャルデンチャーの臨床 リムーバブルパーシャルデンチャーを再考する デジタル時代を見据えたオルタードキャスト法の再考 Denture Designer への道 咬合高径・咬合平面・下顎位、人工歯ポジションなどの設定の仕方について 下顎高度吸収顎堤症例に対する吸着義歯での対応法 総義歯臨床を失敗しないためのポイント 磁性アタッチメントが主役になる日 マグネット義歯製作の勘所 パーシャルデンチャーの設計に必要なことは？
デジタルデンティストリー		
デジタル デンティストリー	梅原 一浩 山下 恒彦	3D データの臨床応用 デジタルデンティストリーの現在と未来における可能性
CAD/CAM	貞光 謙一郎 新村 昌弘 川内 大輔 布巻 純治・藤村 翼	Analog から Digital へ ー日常臨床での応用ー 口腔内光学スキャナーによるデジタルデンティストリーの進化 これだけは知っておきたいデジタル技工の基礎知識 CAD/CAM でお悩み解決！ ～咬合再構成における最終補綴移行へのプロセス～
インプラント GBR	堀内 克啓 菅井 敏郎 白鳥 清人 横山 隆道 中山 隆司	インプラント治療における歯槽骨造成術のガイドライン サイナスリフト臨床最前線：サイナスリフト難易度分類（ST 分類）を把握してトラブルを回避しよう！ 審美領域や多数歯欠損を伴う大きな骨欠損部への GBR の限界と可能性 インプラントの咬合支持要素としての重要性 4S コンセプトに基づいたインプラント治療
歯内療法		
歯内療法	金沢 紘史 吉岡 俊彦 松延 允資	根管処置のあとを考える根管治療 マイクロネイティブ世代が考える再根管治療のキーポイント GP による GP のための歯内療法の実践
経営・コミュニケーション		
経営	勝部 義明	幸せな職場のつくり方
コミュニケーション	濱田 真理子 柴原 由美子 井上 和 水木 さとみ	信頼関係を構築する質の良い会話のためのスキル 伝えかた改革 ～臨床現場における伝え方のコツ～ 難しい患者さんとのコミュニケーション コミュニケーションの質を変える人間力
小児・矯正		
矯正	松崎 浩成 米澤 大地 筒井 武男 大串 奈津貴	LOT に有効なメカニクス 診療に役立つ部分矯正のポイント ～部分矯正でどこまで治せるか～ 包括歯科臨床における LOT の役割 こんな時どうする？ 矯正治療の応用法 ～実践臨床テクニック～
小児歯科	石谷 徳人 土岐 志麻 中村 佐和子	萌出障害に取り組むための視点と注意点 小児歯科はチーム医療 ～それぞれの役割～ 「子どもの口腔機能発達から健康を考える」 ～健康寿命を延ばすために小児期からのアプローチ～

顎関節症・TCH		
顎関節症	島田 淳	難症例から考える顎関節症治療の基本 一症例より見えてくるもの一
	石川 忠	オクルーザルアプライアンスを応用した顎関節症の治療 一あなたのアプライアンスはなぜ効かないのか一
	松島 正和	顎関節症治療に必要な思考力 ～構成組織の形態と構造と機能～
	永田 省藏	不良な咬合とその障害～顎口腔系との係わりから
TCH	木野 孔司	TCH マネジメントとリハビリトレーニングで治す顎関節症
	齋藤 博	臨床に取り入れる TCH コントロール 一100 歳まで自分の歯で一
NCCL	黒江 敏史	アブラクション 30 年目の再検証
審美修復		
審美修復	宮崎 真至	コンポジットレジンを用いた審美修復の臨床
	北原 信也	デジタルデンティストリーにおける審美修復治療の今と未来の展望
	飯田 真也	日常臨床に活かすコンポジットレジン修復
歯周治療		
歯周病学総論	西田 互	全身に災いをもたらす歯周病、健やかなお口が健康長寿の秘訣！
	天野 敦雄	なぜ歯周病になるの？ 歯周病の最新病因論
歯周治療連携	小牧 令二	心を動かすモチベーション
	牧野 明	質の高い歯周基本治療で治る！ ～威力と意義～
	遊亀 裕一	補綴治療で必要な咬合の情報 ～歯科衛生士、歯科技工士の連携のために～
歯周再生療法	村上 伸也	歯周組織再生療法の近未来を俯瞰する
	水上 哲也	進化し続ける歯周組織再生療法の今
	申 基喆	歯周再生療法 一難症例から学ぶ一
	木村 英隆	エナメルマトリックスデリバティブを応用した歯周組織再生療法
DT プログラム		
DT プログラム	外口 晴久	総合病院における歯科技工士の役割 一高齢者に対する取組み一
	松岡 金次	前歯でもかめる総義歯で健康寿命UP！
	中村 悠介	歯科技工士として治療に関わることの重要性
DH プログラム		
DH プログラム	小林 明子	これだけはおさえてほしい生涯メンテナンスに通じる咬合の知識
	丸山 葉子	DH 対応を的確に行うための患者資料の活かし方
	津曲 祐子	患者に気付きを与える指導
	池田 育代	歯周基本治療を理解し SRP を極めよう
	中澤 正絵	歯科衛生士の全身管理スキルを日常臨床にいかそう
教育講演		
倫理	上野 道生	臨床研究における倫理審査の必要性
利益相反・COI	菅野 詩子	COI (恋!?) に恋をして
論文	関野 愉	臨床研究と症例報告のガイダンス
若手医師の登竜門		
若手医師の登竜門 (支部選抜発表)	安永 賢史	歯・歯列・インプラントの長期安定を考慮し審美的・機能的改善を図った咬合再構成症例
	阿部 公人	多数歯う蝕により咬合崩壊した患者に対し咬合再構成を行った 1 症例
	小林 友貴	下顎位を三次元的に検討し咬合再構成した 1 症例
	鈴木 英史	多数歯欠損患者に対しインプラントを用いて咬合再構成を行った症例
	大塚 淳平	多数歯う蝕により咬合崩壊した患者に対して行った咬合再構成症例
	赤間 廣輔	Dental Erosion に対し MI を考慮して全顎的修復を行った 1 症例
メーカープログラム		
カボデンタル システムズ株式会社	稲葉 繁	顎関節症の治療に有効な KaVo CT による臨床
株式会社ジーシー	志賀 博	よく噛める義歯のための機能的咬合理論と口腔機能検査法の活用
株式会社松風	貞光 謙一郎・ 澤井 佳代・浦平 実奈	バイオアクティブ材料 (GIOMER) を活用した歯科医院経営ストラテジー ～歯科助手・歯科衛生士との連携による院内コンセプトの共有と患者への伝達～
ジンマー・バイオメット・ デンタル合同会社	相宮 秀俊	Navigator® システムを用いたガイドドサージェリーの臨床的ポイント 一T3® DCD® インプラントの性能を最大限に活かすための治療戦略と埋入術式一
株式会社 トクヤマデンタル	岩崎 圭祐 村岡 秀明	オムニコロマをもたらす革新の保存修復治療 装着体験から義歯の裏装を語る ～光硬化型裏装材トクヤマヒカリライナーの活用テクニック～
Planmeca Japan 株式会社	倉富 覚	診断革命 ～歯内療法における CBCT の活用法～
株式会社 メガジェンジャパン	有賀 正治	インプラント治療のパラダイムシフト ～Densah Bur を用いた Osseodensification という新しい考え方～
株式会社茂久田商会	岡口 守雄	MTA を用いた歯髄保存のコツ
株式会社モリタ	月岡 庸之	SPI インプラントデジタルガイドドサージェリーその基礎と臨床応用
株式会社ヨシダ	上田 秀朗	包括歯科臨床におけるネクストビジョンの可能性を探る
	林 美穂	Wonderful Nextvision!
	佐藤 孝弘	インプラント周囲炎予防の新しい形
	河合 竜志	6 軸高性能マイクロスコープ活用と軟組織のマネジメント

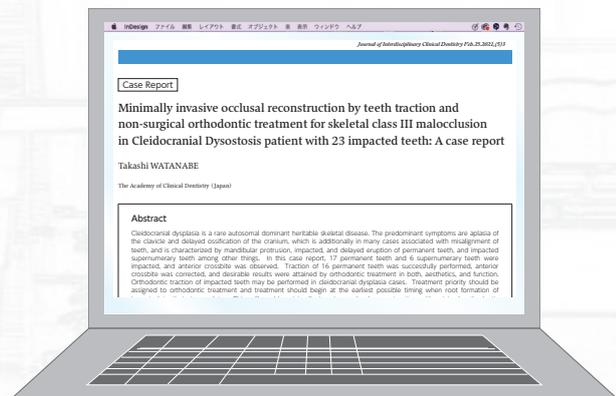
## ■ 編集委員会からのお知らせ

## 日本顎咬合学会の国外に向けた「第二の論文誌」 “Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry”



### 日本顎咬合学会の国外に向けた「第二の論文誌」 “Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry”

簡単な登録で、日本語を含めた4カ国語（英語、中国語、スペイン語）に翻訳された論文を閲覧できます。



Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry の最新号 Vol 3 No1 (2021) には渡辺隆史先生(第12代理事長)の論文「23本の埋伏歯を伴う骨格性Ⅲ級の鎖骨頭蓋異骨症患者に対して、歯の牽引と非外科的矯正治療により低侵襲な咬合再建を行なった一例」が掲載されました。

### Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry の論文閲覧について

Journal of Interdisciplinary Clinical Dentistry に掲載の論文を閲覧するには登録が必要です。  
学会ホームページの【発行者】→【国外に向けた「第二の論文誌」】と進み、【登録画面はこちら】より Register ページへアクセスし、Profile と Login (e-mail と password) の登録を行ってください。

▼ 登録ページアドレス・QRコード ▼

<https://jicd-journal.com/Forms/Register>



## informations

### 春の叙勲・褒章のお知らせ

令和3年 春の叙勲・褒章の発表があり、当学会の会員より下記の先生方が受章されました。

旭日中綬章 鈴木 豊 様 (相談役・東京都)  
旭日双光章 永原 昇 先生 (佐賀県)  
瑞宝双光章 赤崎 榮 先生 (沖縄県)

会員一同心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

理事長 黒岩昭弘

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 News Letter 85

発行日：2021年5月28日

発行者：黒岩昭弘

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-8-2 山京半蔵門バレス201

TEL：03-6683-2069 FAX：03-6691-0261 E-mail：nichigaku@ago.ac